

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【公開番号】特開2016-120233(P2016-120233A)

【公開日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-040

【出願番号】特願2014-263540(P2014-263540)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月25日(2018.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いた遊技が行われることによって、所定の遊技利益を付与可能な遊技機において、

側方から光が入射されることによって所定の絵柄が表出す導光領域が面部に形成された導光板と、

該導光板の側方に光を入射可能な複数の発光部と、を備え、

前記導光板の面部には、該導光板とは別の部材が入り込むための孔部が形成され、

前記導光領域のうちの前記孔部の周りの導光領域に対して前記複数の発光部から入射された光が導光するように、前記複数の発光部が前記導光板の外側に設けられることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

遊技媒体を用いた遊技が行われることによって、所定の遊技利益を付与可能な遊技機において、

側方から光が入射されることによって所定の絵柄が表出す導光領域が面部に形成された導光板と、

該導光板の側方に光を入射可能な複数の発光部と、を備え、

前記導光板の面部には、該導光板とは別の部材が入り込むための孔部が形成され、

前記導光領域のうちの前記孔部の周りの導光領域に対して前記複数の発光部から入射された光が導光するように、前記複数の発光部が前記導光板の外側に設けられる

ことを特徴とする。

また、本発明に関連する関連発明として以下の構成を参考として開示する。

遊技媒体を用いた遊技が行われることによって、所定の遊技利益を付与可能な遊技機において、

側方から光が入射されることによって前面に所定の絵柄を表出させる導光板と、該導光板の側方に光を入射可能な入射手段と、を備え、

前記導光板には、該導光板とは別の部材が入り込むための切除部が形成され、前記入射手段は、

所定の部位から前記導光板の側方に光を入射可能な第1入射手段と、

該第1入射手段とは異なる部位から前記導光板の側方に光を入射可能であって、前記第1入射手段から入射された光が前記切除部により届き難くなる前記導光板の領域に対する導光を補助しうる第2入射手段と、を有することを特徴とする。_____